

がん と診断された 緩和ケア 時からの

緩和ケアって何だろう？医療者と患者と共に考えましょう

日時 2016年
11月26日(土)
12:30~16:30 (開場 12:00)

入場無料

定員 200 名

お申し込みは
メール又は郵送で

会場 滋賀県文化産業交流会館小劇場
〒521-0016 米原市下多良 2 丁目 137

第Ⅰ部 パネルディスカッション

第Ⅱ部 特別講演

「緩和ケアってなあに？」

「最期まで目一杯生きる」

座長 菊井 津多子 (滋賀県がん患者団体連絡協議会)
八木 政廣 (同上)

パネラー 花木 宏治 先生 (市立長浜病院)
細井 順 先生 (ヴォーリス記念病院)
山本 茂子 看護師 (大津赤十字病院)

五十音順
多田 勢津子 (滋賀県がん患者団体連絡協議会)
野崎 安美 (同上)
水野 紀一 (同上)



緩和ケア診療所 いっぽ 医師
萬田 緑平 先生

主催：滋賀県がん患者団体連絡協議会
共催：滋賀県がん診療連携協議会 緩和ケア推進部会
後援：滋賀県、医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

お問合せは
こちら▶▶

●滋賀県がん患者団体連絡協議会
520-0521 滋賀県大津市和邇北浜 16
TEL 090-6372-3064 (事務局 イデ)
TEL 080-6141-4151 (担当 タダ)

参加ご希望の方は

- ①郵送の場合 下記の内容を記入の上、上記「お問合せ住所」まで郵送ください。
②メールの場合 下記の内容を seminar@cancer-patients.shiga.jp までメールください。

フリガナ	電話番号
氏名 男・女	
フリガナ	メールアドレス
住所	

※複数で参加の場合は裏面に氏名を記入ください。

第Ⅱ部 特別講演

最期まで目一杯生きる

緩和ケアのテクニックの話ではありません。患者、家族の写真、生の声、動画を中心に癌患者さんの自宅で目一杯生きる姿を伝えたいと思っています。そして、そこから「あなた」が「何が出来るのか」の、ヒントをつかんでもらえばいいと思っています。



講師 緩和ケア診療所 いっぽ 医師 まんだ りよくへい 萬田 緑平 先生

PROFILE

平成3年 群馬大学医学部卒業
平成20年まで 群馬大学第一外科に所属 県内外の病院外科勤務
平成20年から 緩和ケア診療所・いっぽ勤務

医師になったその年から、穏やかに亡くなっていく人と、辛そうに亡くなっていく人がいる事に気付き、緩和ケアという言葉がない時代から緩和ケアを行う。8年前に外科から転身したというより、外科医時代からやってきた緩和ケアを本格的に行うようになった。

著書 「穏やかな死に医療はいらない」 朝日新書
「家に帰ろう」 徳間書店

【緩和ケア診療所・いっぽ】

ペインクリニック小笠原院を前身とし、平成3年の開設以来在宅緩和ケアに取り組んできた。平成20年4月「緩和ケア診療所・いっぽ」として「癌患者を中心とする在宅緩和ケア」を専門に再スタート。現在、小笠原院長以下、医師2人、看護師8人、事務4人のスタッフで、常時60人程度の癌患者さんの訪問診療をしている。緩和ケア外来もあり、通院できる方を支えています。8年間で1200人看取りました。でも、看取ることが仕事じゃない。緩和ケアが仕事じゃない。自宅で目一杯、その人らしく生きることを支援する「生き抜き屋」集団です。

会場のご案内

滋賀県文化産業交流会館

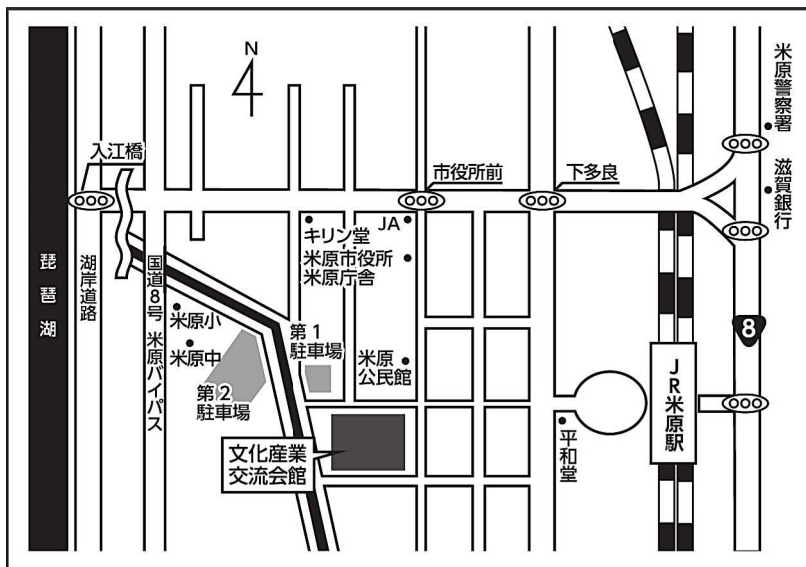
521-0016 米原市下多良2丁目137

電車・バスでお越しの方

JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線
米原駅西口より徒歩7分

お車でお越しの方

北陸自動車道米原インターより約10分 または
名神高速道路彦根インターより約15分



キリトリ線



氏名	氏名
氏名	氏名
氏名	氏名